

**危ない！
その消火器
大丈夫??**

近年、古い消火器の破裂事故が多発しています。事故がおきている消火器は、中に小型の炭酸ガスボンベがあり、レバーを握るとボンベが開放され、消火器内にガスが充填しその圧力で消火薬剤を放射するものです。

そのため、古い消火器は本体の腐食、錆びなどによりボンベから出たガスの圧力に耐え切れず、消火器の底が抜けたり、上部の金具が破損したりして爆発をおこし、死亡事故もおきています。

事故をおこさない為に、自宅にある消火器について、次の点を確認してみましょう。

- ① 本体に亀裂、へこみがないか。
- ② 消火器の底が錆びていないか。
- ③ 製造されてから8年以上経過していないか。
- ④ 高温多湿の場所に置いていないか。

古い消火器は使わず、業者さんに引き取ってもらいましょう。



**消火器の一体型
リサイクルシステム
ができました！**

消火器は一般ゴミ・粗大ゴミでは回収できません。また、今までのリサイクルシステムでは他社の廃消火器は引き取れないなど、運用面で課題がありました。

しかし、今回のリサイクルシステムにより2010年1月から、このメーカーの廃消火器でも引き取ることが可能となりました。

2010年以降に製造されている消火器には購入時にリサイクルシールが貼ってあり、それ以前に製造された消火器は、リサイクルシールが貼られていないため、処分時にリサイクルシールを購入し貼る必要があります。

- ① お近くのメーカー営業所に引き渡す。
- ② お近くの消火器販売店に引取りを依頼する。
- ③ ゆうパックに引取りを依頼する。

このいずれかの方法により廃消火器を処分することが出来ます。

また、リサイクルシール料、各運搬・保管料はリサイクル窓口業者にお問い合わせください。

なお、リサイクル窓口業者は、消火器リサイクル推進センターのホームページで検索してください。

**消防サイレン
10メモ**

●お昼のサイレンは、点検

一昔前までは、サイレンは火災発生時に消防団員への召集のために鳴らしていました。現在は、消防団員にも消防無線で召集を知らせております。しかし、大きな災害が発生した場合は、注意喚起や警戒態勢を市民に周知するために鳴らします。そのためにも備え、お昼の時報に併せて点検のため鳴らしてあります。

●消防車のサイレン

火災時に消防車が出動するとき、サイレン音の「ウーウー」と警鐘の「カンカン」を鳴らし、火災以外の車両事故などの警戒に当たる時や救助活動にあたるさいのサイレン音は「ウーウー」のみで出動します。

これによって、火災とその他の災害出動の区別をしています。

●救急車のサイレン

救急車は、出動時「ピーポー・ピーポー」と鳴らして出動します。傷病者を病院まで迅速かつ確実に搬送するため、サイレンが聞こえた場合には救急車が通りますので注意してください。



**少年消防クラブ員と
指導員を
募集しております。**



●紙面に対するお問い合わせは●
留萌消防組合
小平支署 予防係
電話 56-2221
鬼鹿支署
電話 57-1253

古い消火器は使わないで下さい。